

一般社団法人 山梨県情報通信業協会会報誌

会報

山梨県
情報通信業
協会

YSA

02

春

2025.3月発行



真原桜並木から望む甲斐駒ヶ岳

INDEX

● 会長挨拶	P2	● AI・データ活用スペシャリスト養成講座	P8
● 令和7年 新春講演会・賀詞交歓会	P3	● Yamanashi AIハッカソン 2024	P8
● 第45回全情連大会ANIA山梨大会	P4	● サイバーセキュリティ競技会	P8
● 令和6年度 通常総会・講演会・交流会	P6	● 企業ガイダンスの開催	P9
● 令和6年度 YSA親睦ゴルフコンペ	P7	● 活動報告(ダイバーシティプロジェクト)	P9
● 令和6年度 納涼会記念講演会・納涼会	P7	● INFORMATION(令和6年度主要行事)	P10
		● 編集後記	P10



Yamanashi Information Service Industry Association



ごあいさつ

一般社団法人
山梨県情報通信業協会
会長

長坂 正彦

株式会社ワイ・シー・シー
代表取締役社長

「魅力ある産業を目指して、産学官連携強化へ」

会員の皆様にはご清祥にてご隆盛のこととお慶び申し上げます。

平素は山梨県情報通信業協会に格別のご厚情を賜り御礼申し上げます。

当協会は昨年、創立30周年の節目を迎えることができました。設立から今日に至るまで、協会の発展にご尽力ご協力いただいた会員の皆様はじめ、関係機関、各産業団体の方々に厚く御礼申し上げます。この記念すべき節目に全国地域情報産業団体連合会（ANIA全情連）の全国大会を初めて山梨県内で開催し、県内ICT産業の発展の姿をお伝えできました。同時に「ワイン県」山梨はジュエリー産業や印傳、絹織物などの集積地であり、リニア時代に向け交通の要衝としてダイナミックに変貌する可能性や先端技術産業が立地するポテンシャルの高い地域として、山梨エリアの魅力を発信でき大きな成果を得ることができました。

国はデジタル田園都市国家構想を旗印としてデジタル地方創生を重要施策として位置づけ、スマートシティ構想や産業分野へのDX（デジタルトランスフォーメーション）の進展に向け、助成支援策を拡充しております。情報サービス産業はD/X、G/Xの潮流に加え、産業革命に匹敵する生成AIの社会的インパクトへの産業としての対応力強化など、多様な面からの取り組みが期待されております。目まぐるしく変化するデジタル社会への先導役として「一人ひとりが輝

くデジタル社会」の実現に向け、行政官庁や産業界の要請に応えるべく高度技術者の育成に努めるとともに、産学官の連携を強化して参ります。

又、地域社会のデジタル化ニーズに関しましては、県内産業の垣根を超えてクロスインダストリーの視点に立ち、協会活動の幅を広げることが求められています。とりわけ半導体や医療機器製造など、産学立地が進むものづくり産業との相互交流拡大も検討したく思います。同時に県が推進するメディカルデータ駆動社会へのビジョンや航空宇宙防衛産業分野への成長産業育成に向けた施策とも連携して、当産業の基盤強化へのアプローチも模索したく思います。

他方、歴史的に半世紀たらずの当産業においては、企業コンプライアンスやガバナンス強化なども重要であり、人的資本経営などの観点に立ち、情報サービス産業の特性に資する経営基盤の強化も必要であります。また、働き方改革をはじめとするダイバシティの推進に注力しつつ、労務管理費の適正化、適正取引価格への転嫁に向け、業界の構造的問題にも関わってまいります。魅力ある産業を目指し、労働集約型の事業環境から社会の価値創造に貢献しうる産業に進化してまいりましょう。

会員各位のご隆盛ご健勝を祈念申し上げ、当協会の一層の発展を願ってご挨拶と致します。

何卒、ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。

令和7年「新春講演会・賀詞交歓会」の開催

1月29日(水)、シャトレゼホテル談露館にて、令和7年新春講演会・賀詞交歓会が開催されました。

今年はシャトレゼホテル談露館にて、多数のご来賓、会員に方々にご参加いただき開催しました。

新春講演会では、「いま、山梨大学は「一地域の中核世界の人材」と題して、国立大学法人山梨大学学長中村和彦様より、ご講演をいただきました。中村学長は山梨大学卒業生でもあり、その後山梨大学にて教授・学部長・副学長を歴任され、2023年より山梨大学学長に就任されご活躍されております。ご講演のなかで、地域の皆さんと地域の未来を創り上げるために、「県内唯一の国立大学として地域を支える人材を育て、山梨を元気にする」ための大学での取り組みを熱く語られ、その実行に移されていく行動力に感銘を受けました。

賀詞交歓会では、冒頭に長坂会長が挨拶され、昨年山梨で初めて開催した「第45回ANIA山梨大会」が全国から多くの皆さまをお招きし成功裏に終わった。大会準備から当日の運営まで携わって頂いた多くの関係者に感

謝申し上げたいとの御礼の挨拶がありました。また、年頭にあたり当協会の今年の漢字を「魅」とした。「新たな市場創出を行い、各分野で社会発展に取り組むとともに、産学官連携強化と人材育成でIT業界の魅力ある活動を推進して欲しい」と力強く発信されました。来賓として、山梨県長田副知事、守屋参議員議員、永井参議員議員、甲府市樋口市長、山梨県関係者、市町村首長、(公財)やまなし産業支援機構、(一社)山梨県機械電子工業会様等をお招きし、来賓を代表しまして、山梨県長田副知事、守屋参議員議員(秘書出席メッセージ代読)、永井参議院議員(秘書出席メッセージ代読)、甲府市樋口市長よりご挨拶をいただき、山梨県DX・情報政策推進統括官滝本様のご発声にて甲州ワインにて乾杯し開宴しました。講演者の中村山梨大学学長はじめ、来賓者の方々、YSA会員企業との和やかな親睦を深め、最後は井上YSA理事の締めの挨拶で賀詞交歓会はお開きとなりました。



「第45回全情連大会 ANIA山梨大会」の開催

10月17日(木)・18日(金)、
ANIA山梨大会が開催されました。

一般社団法人全国地域情報産業団体連合会 (ANIA) との共催により、第45回全情連大会「ANIA山梨大会」を多数のご来賓、会員の方々にご参加いただき盛大に開催しました。山梨県で全情連大会が開催されるのは初めてであり、当協会 (YSA) 設立30周年の記念すべき年に全情連の大会を併せて開催することができました。17日は、ベルクラシック甲府にて式典・記念講演会・懇親会を開催し、翌18日は、エクスカッションとして観光とゴルフを行いました。地方都市の魅力に触れながら「デジタルを活用した一人ひとりが輝く社会創り」への大変有意義な交流の場となった大会になりました。

大会の成功に向けご支援いただきましたすべての皆様に深く感謝申し上げます。

大会

◆式典・記念講演会

ANIA長谷川会長の主催者挨拶、YSA長坂会長の歓迎挨拶、続けて来賓者として経済産業省商務情報政策局情報技術利用促進課室長 河崎様、山梨県副知事 大久保様からご挨拶をいただきました。また、多数の祝電も頂戴しました。続いて、永年勤続表彰が行われ、3名の方々に表彰状・記念品が贈呈されました。受賞された皆様、本当におめでとうございました。

記念講演では、基調講演と特別講演を行い、基調講演では「カーボンニュートラル社会の実現に向けた「やまなしモデル」P2G事業への取り組み」と題して、山梨県企業局新エネルギーシステム推進課課長 宮崎和也様より、ご講演をいただきました。山梨県でのCO2フリー水素の利活用を目指し、再生可能エネルギー電力から水素を製造し、貯蔵・



ANIA 長谷川会長の主催者挨拶



経済産業省 河崎室長様の来賓者挨拶



YSA 長坂会長の歓迎挨拶



山梨県副知事 大久保様の来賓者挨拶



【永年勤続表彰】
左から、長野県情報サービス振興協会 渡辺専務理事様、
ANIA 長谷川会長、埼玉県情報サービス産業協会 北島様、
山梨県情報通信業協会 鈴木様



式典風景

利用するP2G(Power to Gas) システムの開発状況やカーボンニュートラル社会の実現に向けた施策など、大変興味深い内容のお話をさせていただきました。

特別講演では、「戦国大名と情報戦略」と題して、歴史学者 平山優様より、ご講演をいただきました。平山様は武田氏・戦国史研究の第一人者であり、戦国期の様々なテーマに切り込む気鋭の歴史学者であるとともに多くの著書も出されご活躍されています。当日は激動の戦国史について現在の状況も交えたお話をいただき、戦国歴史についての貴重な学びを得ることができました。

◆懇親会

懇親会では、日本航空高等学校山梨キャンパス太鼓隊の皆さんによる歓迎太鼓の演奏にて懇親会が始まりました。来賓を代表しまして甲府市長 樋口様よりご挨拶をいただき、山梨県 DX・情報政策推進統括官 瀧本様のご発声にて甲州ワインにて乾杯し開宴しました。

「ザ・ビートレス」のオンステージや山梨県産品抽選会といったアトラクション、次回開催県の宮崎県への引継ぎ式が行われ、宮崎県情報産業協会会長 川崎様から宮崎県の紹介を兼ねご挨拶をいただきました。大きな盛り上がりの中で和やかに親睦を深めていただき、最後は中込YSA副会長の閉会の言葉で幕を閉じました。



宮崎様の基調講演



平山様の特別講演



懇親会風景



懇親会風景



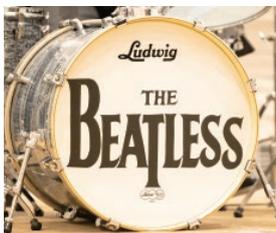
懇親会風景



【歓迎太鼓】



【大抽選会】



【「ザ・ビートレス」のオンステージ】



次回開催県
宮崎県情報産業協会
川崎会長挨拶

「第45回全情連大会 ANIA山梨大会」の開催

エクスカージョン

観光では、「富士山と未来をつなぐ」をキャッチフレーズとして、日本の象徴ともいえる富士山を山梨県側から心ゆくまで楽しんでいただけるコースをご堪能いただきました。

歴史と由緒ある新倉山浅間神社を参拝した後に、山梨県立富士山世界遺産センターにて富士山が世界遺産に登録されるまでのあゆみなどについて学びました。午後からは、国の天然記念物に指定され、全国名水百選に選定された「忍野八海」

を訪れました。澄み切った水は美しく神秘的でありました。

ツアーの最後には、未来の乗り物「リニアモーターカー」の実験・見学施設を見学していただきました。

恒例のゴルフでは、どのホールからも富士山を望むことができる日本屈指のトーナメントコースにて、グリーン攻略に腕を揮いつつも、プレーを通じて大いに交流を深めていただきました。



令和6年度「通常総会・講演会・交流会」の開催



当協会の発展に永年ご尽力いただきました鈴木様



理事に就任された高山様



監事に就任された油川様

6月13日(木)、ベルクラシック甲府にて、令和6年度通常総会・講演会・交流会が開催されました。

今回は、当協会設立30周年の節目の年を迎え、通常総会、講演会に加え30周年記念交流会が執り行われました。

また、通常総会において提出の議案が全て可決されましたことも併せてご報告申し上げます。

通常総会の終わりに、今回をもって当協会理事を退任される鈴木様、新たな理事に就任された高山様、監事に就任された油川様2名のご挨拶をいただきました。総会終了後、山梨大学ワイン科学研究センター 生命環境学部地域食物科学科教授の柳田藤寿先生に「最新の日本ワイン事情と発酵食品開発」と題して、ご講演をいただきました。講演会終了後、30周年の節目の年を迎えた記念パーティー含めた交流会を開催しました。交流会では講演者の柳田先生とのQ&A、来賓者を交えて会員企業との近況報告や情報交換など、短時間でしたが盛況に終えることができました。

ご参加いただきました会員の皆さまには改めて感謝申し上げます。

今後とも協会事業に引き続きご協力を賜ります様、お願い申し上げます。



令和6年度「YSA 親睦ゴルフコンペ」の開催

7月13日(土)、富士レイクカントリー倶楽部にて、
令和6年度第1回YSA 親睦ゴルフコンペが開催されました。

梅雨も明けた曇り空のもと富士山の麓にて総勢18名が参加しました。ご参加いただいた皆さま、ご苦労様でした!

【成績】
優勝 : 宿沢 一六 (株ネオシステム)
準優勝 : 山本 大 (株テレビ山梨)
3位 : 田丸 淳一 (株ウインテックコミュニケーションズ)



第1回YSAコンペ集合写真



表彰パーティ風景



11月9日(土)、境川カントリー倶楽部にて、
令和6年度第2回YSA 親睦ゴルフコンペが開催されました。

晩秋からの暑さも収まり立冬を迎え、まわりの木々も色づき始め最高の天気にも恵まれたなか総勢16名が参加しました。ご参加いただいた皆さま、ご苦労様でした!

【成績】
優勝 : 宿沢 一六 (株ネオシステム)
準優勝 : 大木 聡 (株プリリアント)
3位 : 中込 裕 (株システムインナカゴミ)



第2回YSAコンペ集合写真



表彰パーティ風景

令和6年度「納涼会記念講演会・納涼会」の開催

7月26日(金)、シャトレゼホテル談露館にて、
令和6年度納涼会記念講演会・納涼会が開催されました。

納涼会記念講演会では、「アジア諸国の経済動向と高度外国人材」と題して、日本貿易振興機構(ジェトロ)山梨貿易情報センター所長 濱田哲一様より、ご講演をいただきました。東南アジア、インド、バングラデシュ、パキスタン、スリランカの経済動向とデジタル人材について、各々の国の基礎的経済指標データも交えた特性や見通し、デジタル経済の市場規模が長期成長へとむかうためのデジタル人材の育成など、普段身近に接することのないアジア諸国の内情について理解を深めることができました。また、ジェトロ様では、高度外国人材の採用から育成定着までを支援するメニューを提供されており、会員企業においても今後の事業展開検討に向けた活用を検討していきたいと思います。

納涼会では、協会設立30周年の記念も兼ね、井上交流委員長の乾杯により納涼会を開催しました。おかげさまで50名の方々にご来場いただき、盛会のうちに終了することができました。



「AI・データ利活用スペシャリスト養成講座」の開催

10月2日(水)～11月13日(水)にかけて、計7回の講座が開催されました。本講座は、山梨県の委託を受け、YSA参加の各企業がAI・データ利活用の相談に応えられるような技術育成を図ることを目的とした、事例や演習を取り入れた実践的なセミナーとして開催されました。県内自治体や企業等のDX推進に必要な先端技術を扱う人材の育成や、技術者相互の情報交換によるスキル向上を促進すると同時に、DXの取り組みに関する相談体制の整備や支援など、県内で自走可能な環境の構築を目指すことを目指し、多くのYSA会員が参加しました。

開催日	テーマ	参加者数
10月2日	Pythonスキルアップ講座① ～データ操作編～	18名
10月9日	Pythonスキルアップ講座② ～API活用編～	19名
10月16日	データサイエンスセミナー① ～アンケート分析編～	20名
10月23日	データサイエンスセミナー② ～主成分分析編～	17名
10月30日	生成AIで変わる業務環境	19名
11月6日	生成AI入門セミナー① ～文章生成AI編～	20名
11月13日	生成AI入門セミナー① ～画像生成AI編～	19名

「Yamanashi AIハッカソン 2024」の開催

11月24日(日)～12月22日(日)にかけて、生成AIを活用したアプリ開発をテーマとしたAIハッカソンを下記の通り開催しました。チームを組んで一定期間内にアプリケーションやシステムなどを開発し、その成果を競い合うイベントとして多くのYSA会員に参加していただき、基礎講座やワークショップでAIやPythonの知識を身につけ課題解決アプリを作成しました。



◆第1部 ワークショップ◆

開催日時	1日目 2024年11月24日(日) 9:00～17:00 2日目 2024年12月1日(日) 10:00～17:00 3日目 2024年12月8日(日) 10:00～17:00
会場	山梨大学
概要	[1日目] 生成AIの基本概念とその実装方法を学び、AIアプリの開発を体験 [2日目～3日目] チームに分かれてオリジナルのアプリを企画・作成
アプリ開発テーマ	[山梨の活性化] 生成AIを使って、山梨の魅力を発信したり、山梨の課題解決をしたりすることで、山梨を更に活性化させるアプリケーションを作成する。
参加者数	1日目23名、2日目20名、3日目18名



◆第2部 コンテスト◆

開催日時	2024年12月22日(日) 10:00～17:00
会場	山梨大学
概要	作成したアプリケーションをチームごとにプレゼンテーション。4名の審査員が総合的に評価して各賞を決定、表彰状を授与した。閉会後に懇親会開催
参加者数	18名

「サイバーセキュリティ競技会」の開催

10月26日(土)、山梨県インターネットプロバイダ連絡協議会、山梨県警察本部が行う「サイバーセキュリティCTFコンテスト2024」の後援をYSAが行いました。午前中はサイバーセキュリティに関する講演が行われ、60人余りが聴講しました。午後からサイバーセキュリティ競技会が開催されました。会場は山梨文化会館 山日YBSホールで行われ、YSA参加企業11チーム(22名)と大学生・高校生4チーム(8名)が参加しました。

- 第1位 山梨大学
(競技者:近江さん、保坂さん)
- 第2位 株式会社ジインズ
(競技者:河合さん、保坂さん)
- 第3位 株式会社山梨ニューメディアセンター
(競技者:廣瀬さん、高桑さん)

上位3チームを表彰対象とし、YSAからは参加賞と副賞を提供しました。



サイバーセキュリティ活動に対し山梨県警察部より感謝状を授与されました

「企業ガイダンス」の開催

2025年2月14日（金）ベルクラシック甲府にて企業ガイダンスを開催いたしました。

当日、多数の学生の皆さんに会場いただきました。各企業ブースにて担当者からの説明を真剣に聞いていました。

参加した学生数は38名、参加企業は22社であり一定の成果を出すことができましたと考えます。



学校名	参加学生数 (合計 38名)
甲府市立甲府商科専門学校	24名
山梨県立産業技術短期大学校	11名
専門学校サンテクノカレッジ	2名
山梨学院大学	1名



「活動報告 ダイバーシティプロジェクト」

活動組織が「ダイバーシティプロジェクト」となって2年目になりました。今年度の活動内容になります。

■□■座談会■□■

ダイバーシティプロジェクトでは初めての試みである座談会は、メンバーのための希望でYSA会員企業でもありますエクシオグループ株式会社 坂井甲信支店長をお招きし開催いたしました。エクシオグループ株式会社様でのダイバーシティ推進体制や意識醸成に向けた研修、女性活躍推進の成果・課題をお話いただき、メンバーからの質問にも丁寧にお答えいただきました。予定していた時間では足りないほどの座談会でしたが、はじめて耳にした「パターナリズム」についても考える機会となり、『3つのK(期待、機会、鍛える)』の大切さを感じた一日となりました。

■□■他団体(異業種)と交流・情報収集■□■

山梨県多様性社会・人材活躍推進局の方々にご縁をいただいただき、今年度は株式会社ササキ様とエンドレスハウザー山梨株式会社様と交流会を開催することができました。株式会社ササキ様とはテーマ『社員みんなが働きやすい職場環境づくり ～どうしたらみんなが働きやすくなるのか?～』、エンドレスハウザー山梨株式会社様とはテーマ『ダイバーシティ&インクルージョンを推進する上での職場風土の醸成について ～全社的にダイバーシティの意義を共有化し、浸透させるには～』のワークショップを行い、男性・女性/上司/若手/ベテランなどのいろいろな立場からどんな課題があるのか、実践できる改善策や取り組み案を考えました。共通してあがったキーワードは、「アンコンシャス・バイアス」です。いずれの会員企業の社員お一人おひとりにとっても、重要なキーワードであると言えます。

■□■印象管理セミナー■□■

令和7年2月17日（月）に山梨県立図書館で印象管理セミナーを開催しました。講師には株式会社コンシャスインターナショナル 代表取締役 岩井結美子先生をお招きしました。女性も男性も意欲的に働くためには、なりたい自分を明確にして、なりたい自分に近づくとということが、日々の生活や自分の気持ちを前向きにできる要素のひとつになります。「TPO」と「目的」に合わせて“印象”を創造することが、良好な人間関係や望ましい成果を得るためにいかに必要かを学びました。セミナーで学んだことをそれぞれに活かしていただければと思います。



会員加入状況

	令和6年4月1日 現在	令和6年4月1日～12月25日			令和6年12月25日 現在
		入会	退会等	変更	
正会員	60	2			62
賛助会員	6				6
特別会員	1				1
合計	67	2			69

※会員募集中!! お知り合いの同業者の加入を呼びかけてください。事務局がフォローいたします。

<新規会員>

会社名	株式会社 太洋電設	会社名	旭陽電気株式会社
所在地	〒409-3861 中巨摩郡昭和町紙漕阿原 8	所在地	〒407-0043 韮崎市神山町鍋山 300
TEL	055-207-3737	TEL	0551-22-1213
主要業務	電気通信工事、電気工事	主要業務	・半導体製造装置関連の電子部品製造ならびに半導体製造装置製造受託 ・ダム、河川、防災無線の各情報通信システムや電話通信ネットワークの施工保守 ・水道料金測定システム、公営企業会計システムの運用保守
入会日	令和6年4月	入会日	令和6年10月

INFORMATION

事務局からのお知らせ

令和6年度主要行事

4月15日～16日	YSA 新人社員研修	10月17日～18日	ANIA 山梨大会
4月26日	理事会	11月 1日	「Power BI Desktop」セミナー<基礎編>
5月15日	理事会	11月 5日	採用担当者向けセミナー
5月31日～6月2日	海外視察研修（台湾）	11月 9日	第2回YSA 親睦ゴルフコンペ
6月13日	理事会・通常総会・講演会・交流会	11月15日	第2回メトロエリア事務局会議
7月 5日～ 6日	第1回メトロエリア事務局会議	11月18日	「Power BI Desktop」セミナー<実践編>
7月13日	第1回YSA 親睦ゴルフコンパ	12月 3日	東京地区理事会
7月26日	理事会・夏季講演会・納涼会	1月29日	理事会・新春講演会・賀詞交歓会
9月 4日	理事会	2月14日	企業ガイダンス
9月13日～14日	山梨テクノICTメッセ2024	2月17日	印象管理セミナー
10月 4日	メトロエリア・グリーン会	3月 7日	メトロエリア幹部会
10月 9日	理事会	3月27日	理事会

編集後記

昨年YSA会報誌第1号を発行し、更なる内容の充実を目指し第2号を今回発行しました。
 まだまだ内容の充実までには至りませんが、引き続き会報誌をご愛読いただき、2025年が皆さまにとって飛躍の年となりますようお祈り申し上げます。

2024年は、元日の能登半島地震にはじまり余震や豪雨などの自然災害に見舞われ、甚大な被害が発生しました。被災地では今なお、多くの方が厳しい避難生活を余儀なくされています。被災された方々に謹んでお見舞い申し上げます。

一方で、パリ五輪での「オリンピック・パラリンピック」にて、多くの日本人アスリートの活躍する姿や、野球界では大谷翔平選手がMLB史上初の1シーズン54本塁打59盗塁（50-50）を達成するなど、世界の舞台で輝く姿を目にすることができました。

今年は巳年でも60年に一度の「乙巳（きのとみ）」です。変化を受け入れ、柔軟に対応しながら成長を遂げる年と言われています。

当協会も昨年、創立30周年を迎えることができました。今日までの協会の発展に、会員の皆さまはじめ、関係機関の方々のご尽力に感謝申し上げますとともに、更なる協会の発展に向け会員企業との連携はもとより産学官連携も強化して地域社会の活性化に貢献すべく盛り上げていきましょう!

